



Tierra

倉敷市国際交流協会 (KIA)

2005年3月 第12号

鎮江市との交流

許津榮鎮江市長が初めて倉敷市を訪問

友好都市・鎮江市から許津榮市長を団長とする「鎮江市経済貿易友好代表団」が来倉しました。

一行12名は平成16年10月11日～10月12日まで、滞在しました。許市長は就任後、初の倉敷市訪問となりました。



古市市長から倉敷市特別名誉市民証を贈呈される許市長

滞在中、市長・議長を表敬訪問したほか、倉敷市の経済・貿易関係者との交流を深めました。

倉敷市経済視察訪中団派遣

友好都市・鎮江市の経済概況や投資環境を視察するため、有安敬倉敷市助役を団長とする「倉敷市経済視察訪中団」28名が1月26日～29日の3泊4日の日程で鎮江市を訪問しました。

一行は経済座談会に参加するとともに、今年5月に完成予定の潤揚大橋（鎮江市と長江を挟んで対岸の



岡山空港での出発式

揚州市を結ぶ道路専用橋)、日本工業園区、国際貿易港である「鎮江大港」を見学しました。また、企業視察として、鎮江市内の電子機器メーカー

「江奎集団」、自動車部品メーカー「カヤバ工業」や、昆山の「カイトック・グループ」、上海のタクシー・ハイヤー業「永山タクシー」を訪問しました。

更にJETRO上海事務所を訪問し、上海の成長戦略について説明を受けました。今回の訪問を契機に、両市の経済交流が一層進展することが期待されます。



鎮江大港

クライストチャーチ市との交流

第1回倉敷市障害者親善大使派遣

倉敷市障害者国際交流協会(大森幸二会長)では、倉敷市在住の平田光伸氏(23歳)・大島広昭氏(22歳)と介護者2名を姉妹都市・クライストチャーチ市へ派遣することになりました。

平成17年2月12日～26日、14泊15日の日程で同市を訪問し、滞在中、クライストチャーチ・倉敷姉妹都市委員会ならびに市内4つの障害者支援団体の協力で、ニュージーランド・オープン車いすテニス大会への参加や、学校訪問、地元の障害者との交流などを行います。



クライストチャーチ市空港に到着した一行は、姉妹都市委員会によって温かい歓迎を受けました。

※Tierra(ティエラ)とはスペイン語で「地球」「大地」「故郷」の意

倉敷国際ふれあい広場04

倉敷国際ふれあい広場04を10月9日(土)、10日(日)に倉敷市芸文館で「世界はひとつ心もひとつ」をテーマに開催しました。今回で14回を迎えたこの祭典は、台風の影響で開催が危ぶまれましたが、無事終えることができました。

前夜祭

「音楽は世界の架け橋」の副題で昨年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクールの上位入賞者、地元出身の若手音楽家によりコンサートを開催しました。出演者はウクライナ出身のディナーラ・ナジャーホバさん(ピアノ)、クロアチア出身のルカ・スリスさん(チェロ)と倉敷市出身の黒川侑さん(バイオリン)。



開会式

古市市長、上西会長の挨拶、逸見利也実行委員長の開会宣言に続き、オープニングでは、約20ヶ国の方がステージに上がり、母国を紹介しました。



ステージパフォーマンス

屋外ステージで繰り広げられる各国のいろいろなパフォーマンスが観客を魅了しました。

マジックバルーンパフォーマンス

昨年に続いての2回目の企画。細長い風船を使って色々な形を作るパフォーマンスで、特に子どもたちに大人気でした。

世界の料理屋台

昨年より参加店が大幅に増加し、日本を含めた13の国と地域から、16店の屋台が芝生の広場に並びました。日頃はなかなか食べられない料理が楽しめる

あって市民に大好評でした。特にトルコのアイスクリームは大人気でした。

屋台参加の国と地域は、中国、台湾、韓国、バングラデシュ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、インド、ネパール、トルコ、マリ、スーダン、日本。



お茶席・ワークショップ

芸文館ホールのロビーに作られたお茶席で、着物のボランティアのお点前を見ながら、約400人が抹茶を楽しみました。また、紙のこま、折り紙に大勢の外国の方が参加し日本の伝統文化に親しみました。

国際理解講座

JICA中国国際センターの協力を得て発展途上国の現状、国際貢献について改めて考えてみました。各国の民族衣装、民族楽器などいろいろなものが展示しており、外国のお茶のサービスも、大人気でした。



外国人なんでも相談コーナー

行政書士が外国の方から入管の手続など色々な問題の相談を受けました。

フリーコール

3分間、外国への無料通話ができるコーナーで、外国の方に大好評でした。

生活安全コーナー

外国の方を対象に、生活安全グッズやマニュアルを配布しました。

実行委員の方々、ボランティアの方々のご協力により、また素晴らしいふれあい広場ができました。本当に疲れ様でした!!

カンザスシティ市との交流

中部日米協会会長の来倉

平成16年11月25日から11月28日にかけて、姉妹都市・カンザスシティ市から、中部日米協会の会長フランシス・レメリー氏が、シャーリーン夫人とともに、倉敷市を訪問しました。今回、初の倉敷市訪問となりました。

中部日米協会は、青少年生活体験団の受け入れのほか、学生親善使節の派遣など倉敷市との交流事業を推進している市民団体です。

私用で来日した機会に来倉され、市長を表敬訪問し、カンザスシティ市との交流について協議しました。また、今年度の生活体験団員と再会の喜びを分かち合いました。



レメリー夫婦と市長の歓談

会員の声

ジュニア英語スピーチコンテスト導入に賛成
会員 古城 敬介

第11号において長田様より上記提案がなされています。私もこの提案は素晴らしいアイデアと大賛成です。

毎月1度のグローバル・コミュニティ・イン・イングリッシュに私も長らく出席させていただいて恩恵を享受させていただいて参りましたが最近では時間が重なって出席できなくなり、残念に思っております。

時間が重なって、と申しますのは学校週5日制になってから小中学校生対象に、有料ボランティア英語教室を開いています。週2回、月8回、月謝2,500円を頂戴しています。休憩時間の飲み物代、プリント代、教材購入費などです。

小学生の成長の早さは驚くばかりです。挨拶や会話、身近なものの単語などが中心です。小学生に単語のスペルなどは重きを置いていません。唯、プリントや黒板には、書いて説明しています。学習の原則である「知っていることから知らないことへ」「やさしいことからむづかしいことへ」に心掛けて楽しいレッスンにしています。

ところが先日、突然に子供たちが「英語のしりとりをしよう」と云い出したのです。どうするのかと眺めていたら「teacher -room-moon-noon-news…」と続く次第です。いつの間に成長したの?と驚くばかりです。

話は変わりますが、岡山の山陽学園において毎年スピーチコンテストが行われています。いわゆるアニュアル・イベントです。出場対象は、中、高、大学生、社会人ですが毎年大学生に何人かの高校生も入っているという発表状況です。私のような見学者がいつも200人くらい居られます。このようなコンペティティブ・イベントも生徒たちに刺激を与え、成長を促す良い方法だなあ!と感じながら拝聴しています。

コンテストのやりかたにつきましては、長田さんがいろいろ提案しておられます。実施となると国際課職員の皆さんのお手数は大変なものと拝察いたしますが、なるべくお手数の掛からない方法での実現を期待するものであります。(原文のまま)

更なるホームステイの充実を 会員 長田 新

「Tierraに載せる記事を募集しています」との投稿募集のお勧めに励まされまして、都合二度投稿させていただきました。正直言いまして、拙文が二度活字になるなんて思いもよらないことで、大変驚いていますし、感謝致しております。一度目は、2003年10月第8号に「岡山県を教育特区に」とのタイトルで、国内で留学の疑似体験のできる共同体の形成について、更に、二度目は2004年11月号第11号に「市長杯ジュニア英語スピーチコンテスト導入はいかかでしょう」とのタイトルで、若者対象に、特に中・高校生のために英語スピーチコンテストの開催を提案させていただきました。

2004年11月19日(金)朝日新聞の地方版に「英語教育小中学校で充実」倉敷市教育委員会が「特区」申請、との見出しに目が止まりました。記事の内容を読み、「我が意を得たり。」との感を強くし、思わず「やった!」と声を発しました。そして、2004年12月9日(木)中国新聞の見出し「英語教育特区認定を受ける」倉敷市、に目が止まり、記事「英語教育推進特区」が内閣府の認定を受け、8日首相官邸ホールで古市健三市長が認定書を受け取った。」に、私いよいよだなー!市長さんを始め、関係者の方々に頑張っていたきたいとエールを送り、そして今後の動静を見守っていきたいと思いました。

二度の活字化に味をしめて、三度目の投稿ですが、倉敷市が「英語教育特区」に認定されたことを受けて、「ホームステイの充実」を提案させていただきたいと思えます。

日本人家庭に異国の人が滞在するという従来型のホームステイの充実に加えて、今回提案したいことは、従来型とは逆の型、すなわち日本在住の外国人のお家に、中学生とか高校生とか大学生の人とか、あるいは留学疑似体験希望者の人とか、OLさんとかにホームステイしていただき、異文化体験を通して、国際交流を肌で感じていただく、そのようなプログラムがあると楽しいではありませんか。

そのようなわけで、倉敷市国際課に汗を流していただきたいのですが・・・。両者、即ち日本在住の外国人家庭と日本人の間を取り持つ仲介役、コーディネーターのご苦勞を取っていただければいかがでしょうか。公募から始まって、大まかな規則等を国際課によって作成していただく。細かい約束事は、当事者つまりホームステイ受け入れ側を希望者の

本人同士で誤解の生じないように、よく話し合っ決めていただく。必要があれば、日本語と英語の良く理解できる方に同席していただくのもよいのではないのでしょうか。生活費を含む滞在費とか、規則等をよく話し合っただきたいですね。

お互いの国の風習、習慣、文化を体験的に学ぶことによって信頼関係が深まり、相互理解の大切さ、また、それを学ぶことの尊さを肌で感じることでありましよう。素敵じゃありませんか。

私は、倉敷の地から国際感覚を身に付けた若者が、日本を含め世界に羽ばたき、活躍されることを願っています。同時に、日本においても、倉敷市が国際文化都市の名にふさわしい文化の発信地として、又、若者が発信者として活躍して欲しいと願っています。それというのも、日本を取り巻く情勢に対し、単一国家民族意識の優位性あるいは優先的とも思える様な取り扱いを危惧するからです。事例は多々ございますが、最近では、外国人(在日韓国女性 鄭香均)の管理職排除判決が最高裁によってなされたことです。問題点は、彼女が、日本国籍を有していない故に、日本国の管理職選考受験を拒否された、ということです。国籍取得希望があるならば、日本国籍を取得していただき、正面から受験していただければよいのではなからうか。門戸を開放して欲しいものである。

日本に対して国際化という波は押し寄せてきている。第二の黒船です。閉じられた島国として生きられる時代は終わった。加えて、少子・高齢化で、外国人労働者に頼らざるを得ない必要が目に見えている。即ち、日本人が外国人と共生していかなければならない時が、目の前に差し迫っている。外国人とどう向き合うのか。どう向き合わなければならないのか、その方策について知恵を出し合う作業が急務であろう。国も国民もあまりにもその意識が低いのではあるまいか。そして、私個人としては、日本の国が(他国の)難民を更にオープンに受け入れる国であって欲しいと願っている。というのも、単一民族国家の対極は多国籍国家でありましよう。その多国籍国家、多民族国家の中に、地球市民の姿を見ます。肌の色、言語の相違、文化・文明の相違等々その様な多様性の中の共同体に平和を希求しつつ共生する。多様性の中に、共存(coexistence in diversity)する知恵を求めるところこそ21世紀の日本の目指すところではないだろうか。そして、世界に対して「多様性の共存」を発信する国となるべきではなからうか。

(原文のまま)

インフォプラザ in 倉敷

今後の講座など

事務局から

～ゾマホンの講演会～ 3周年の記念事業

「日本とアフリカの相互理解」というテーマでどうすれば21世紀が平和な世界になるかということとを、アフリカ人としての視点から講座を行います。

日時：3月5日(土) 15:00～16:30
場所：倉敷国際ホテル桜花の間
講師：ゾマホン・ルフィン氏(ベナン共和国出身)
定員：200名(要事前申込)
参加費：無料
対象：一般(但し、整理券が必要。整理券は国際課で配布。倉敷市国際交流協会会員優先)

～ディスカバーアイルランド～ 英語による国際理解講座

日時：3月19日(土) 14:00～15:30
場所：水島公民館第一会議室
講師：中庄小学校AET イアン・マクグラス氏
定員：60名(要事前申込)
参加費：500円(協会会員及び高校生以下は無料)

～グローバル・コミュニティ・イン・イングリッシュ～ 英語によるテーマ別ディスカッション

日時：3月24日(木) 18:30～20:00
場所：倉敷市文化交流会館3階
講師：在住外国人
定員：20名(要事前申込：3月7日(月)受付開始)
参加費：300円(協会会員は無料)

投稿募集中です！

Tierra(倉敷市国際交流協会協会紙)に載せる記事を募集しています。海外旅行紀行、海外留学体験、外国料理の店の紹介、ホームステイの受入体験、留学生の紹介、青年海外協力隊の体験、協会への御意見など、皆様からの投稿をスタッフ一同、首を長くしてお待ちしています。なお、紙面の都合上、編集させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

会員募集中！

倉敷市国際交流協会では平成17年度の会員を募集しています。年会費は、**個人が一口2000円、法人・団体が一口5000円**です。年度(4月～翌年3月)会員となりますので、この時期の入会をお勧めします。会員の方には、講座・イベント情報や協会紙をダイレクトメールでお送りするほか、講座受講料の減免などの特典があります。例えば、英語による国際理解講座、グローバル・コミュニティ・イン・イングリッシュのディスカッショングループ、談天説地(中国語講座)などは有料ですが、会員になりますと無料です。講座当日の入会もOK!その日から特典を受けられます。外国の方々も大歓迎。

国際交流等のテーマに少しでも関心をお持ちの皆さんは、ぜひとも協会にご入会ください。

詳細は倉敷国際交流協会事務局まで。

【発行者】倉敷市国際交流協会事務局

〒710-8565
倉敷市西中新田640
倉敷市役所市長公室国際課内
Tel: 086-426-3015
Fax: 086-427-5400

Eメール

intntnl@city.kurashiki.okayama.jp

ホームページ

www.city.kurashiki.okayama.jp/kurakoku/index.htm